allcinema

パッション（1982）

PASSION

メディア　映画
ジャンル　ドラマ　アート
製作国　スイス／フランス
時間　88分
初公開日　1983/11/19
公開情報　フランス映画社
リバイバル　2002/07/27［ザジフィルムズ］

【解説】

「勝手に逃げろ／人生」で、７０年代を通じてのビデオの実験から久々に劇場用映画に帰ってきたゴダールの復帰第二弾。ますます先鋭的になったその音と映像センスにまずは驚かされる。ドルビー・ステレオとは彼のために発明されたものだ－－という評も目にしたが、効果音が衝撃的に画面をつんざいて、役者の台詞の言い淀みや咳払いまでドラマチックに作品に取り込んでしまう冒険心を讃えたい。内容はと言えば、スイス小村でビデオ映画の撮影隊が、絵画作品の再現－－つまり、俳優たちは様々な扮装をし、あるいは裸でカメラの前で静止することを要求される－－の映像製作に取り組む様子を追うだけ。監督は“光が見つからぬ”とＮＧを出し続け、現場は混乱を極め、結局、作品は完成しない。そこに盛り込まれる様々な引用、絵画のオリジナルを捉えるショットや様々なアフォリズムの字幕の挿入と構成は自在だが（少々混乱もしている）、興味を引かれるのは、その絵画の模倣が本当に完璧を期して作品自体の中でも映像化されようとしていること、Ｒ・クタールの驚異的な撮影である。前作に続いてユペールとドイツからＨ・シグラを画材として迎えている。もちろん、彼女らが奔放（のように見せかけて）に喋っていることも大変重要であるわけだが…。

2002年、“無修正版”としてリバイバル上映された。

【クレジット】

監督	ジャン＝リュック・ゴダール	Jean-Luc Godard	
製作	アラン・サルド	Alain Sarde	（クレジットなし）
	アルマン・バルボール	Armand Barbault	
	マルティーヌ・マリニャック	Martine Marignac	
	カトリーヌ・ラプージャド	Catherine Lapoujade	
脚本	ジャン＝リュック・ゴダール	Jean-Luc Godard	
撮影	ラウール・クタール	Raoul Coutard	
編集	ジャン＝リュック・ゴダール	Jean-Luc Godard	
出演	イザベル・ユペール	Isabelle Huppert	女工イザベル
	ハンナ・シグラ	Hanna Schygulla	ハンナ
	イエジー・ラジヴィオヴィッチ	Jerzy Radziwilowicz	ジェルジー
	ミリアム・ルーセル	Myriem Roussel	ミリエム
	ミシェル・ピッコリ	Michel Piccoli	ミシェル・ブバール
	ラズロ・サボ	László Szabó	製作者
	ジャン＝フランソワ・ステヴナン	Jean-Francois Stevenin	照明技師

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.